



# 水稲生産情報（5月号）

令和3年5月17日  
JAつがる弘前  
弘前北地区営農係

**田植え時期となります。育苗管理はハウスやトンネルを開放し、苗を外気に慣らすようにしましょう。また、田植え後の除草剤散布は、田植えから日数が開きすぎないようにしましょう。**

## 《 田 植 え 》

田植えは代枯れ防止と活着促進のため、強風の日は避け、温暖な日を選んで行いましょう。植付の深さは3cm程度とし、植付の本数は坪当たり80株で1株3～5本植えにしましょう。

【田植え前の病害虫防除】

薬 剤 名	1箱当たり使用量	使用時期	イネドロ オイムシ	イネミズ ゾウムシ	いもち病	備 考
パダン（粒）	80g	当日	○	○	-	1袋（3kg）で38枚分
ブイゲットバイソン（粒）	50g	緑化期～当日	○	○	○	1袋（1kg）で20枚分
ゴウケツバスター箱粒剤（粒）	50g	3日前～当日	○	○	○	1袋（1kg）で20枚分

## 《 田 植 後 の 水 管 理 》

田植え後は、活着を促すため浅水にして水温の上昇を図りましょう。水温を暖かく保つことで活着や分けつが良好になります。

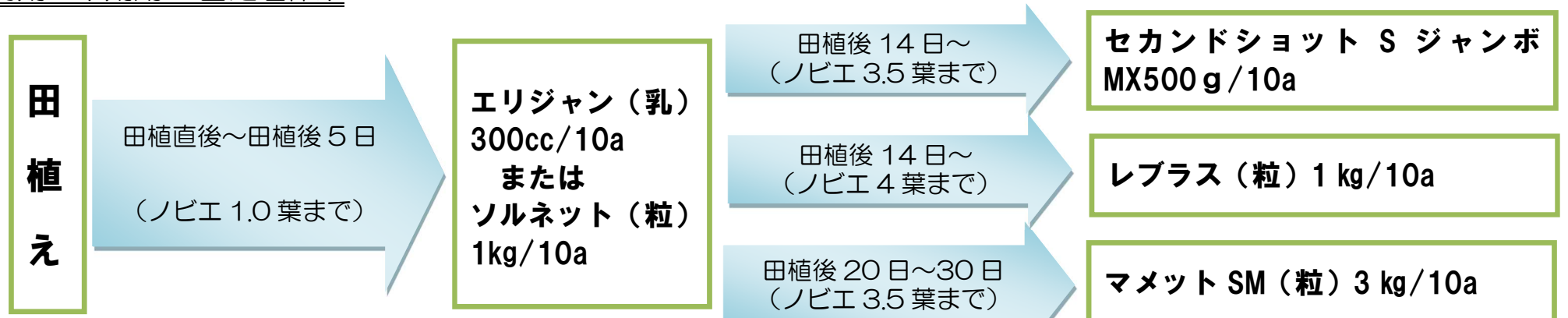
【水管理の目安】

生育時期	温暖な日	低温の日	適水温
活着期	2cm程度の浅水	4～5cm程度やや深水（冠水しないように）	平均水温16℃以上
分けつ期（活着後）	3cm程度の浅水	5～6cm程度の深水	平均水温19℃以上

## 《 除 草 剤 散 布 》

雑草の生育は代かきから始まりますので、使用基準の中の早い日数で散布しましょう。除草剤の効果を発揮するためには水位5cmを最低3日保ち、かけ流しはせず止め水にしましょう。昨年雑草が多かった水田では初期・中期剤体系をオススメします。一発処理体系で水持ちの悪い水田では粒剤タイプの除草剤を使用しましょう。

○初期・中期剤2回処理体系



○一発処理体系 代かきからの日数は10日以上開かないようにしましょう。



**航空防除申込は、6月11日(金)までとなります。広域一斉防除で病害虫を撃退しましょう！！**